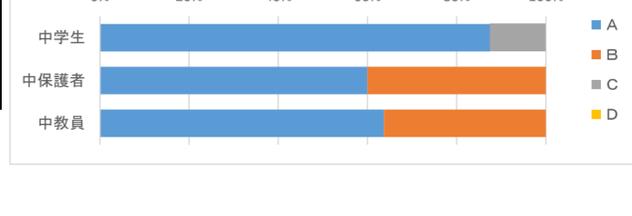
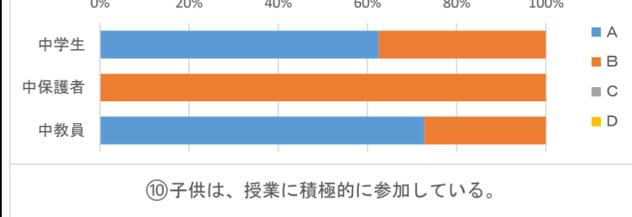
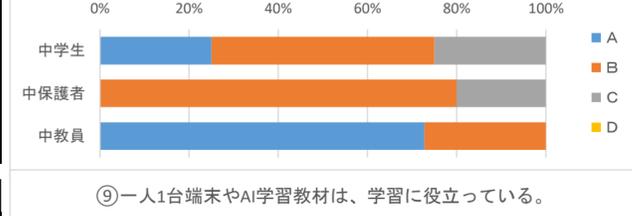
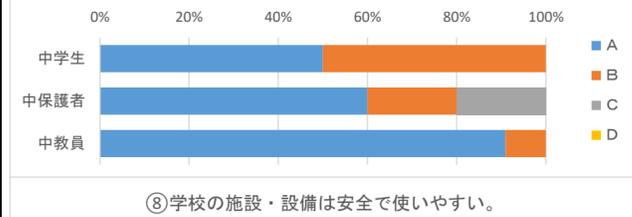
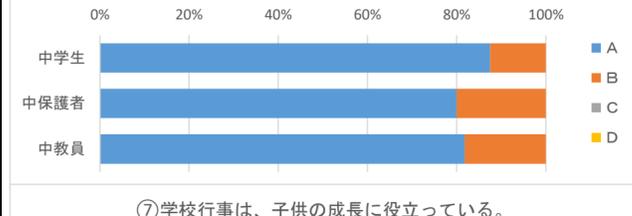
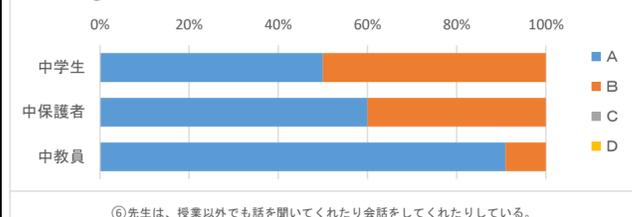
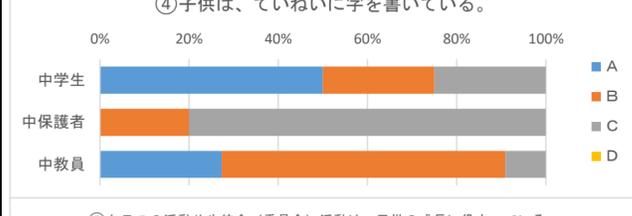
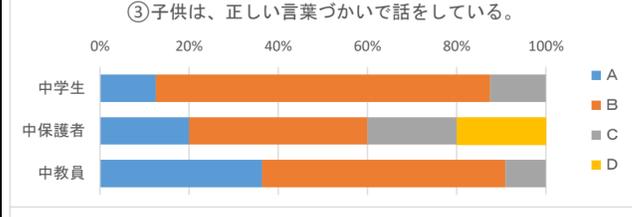
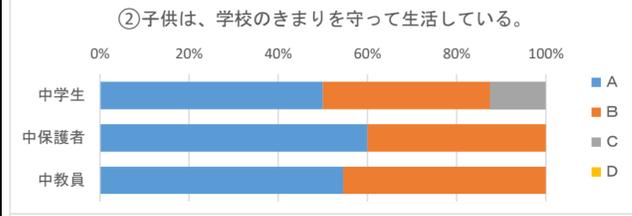
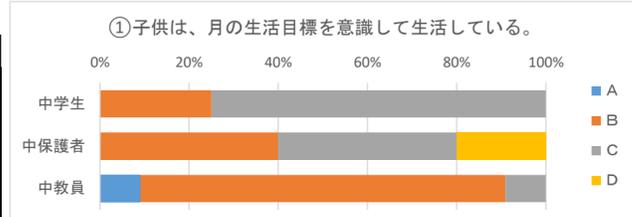


令和7年度 学園関係者評価集計結果（式根島中学校）

【A=4：よくあてはまる B=3：あてはまる C=2：あまりあてはまらない D=1：あてはまらない】

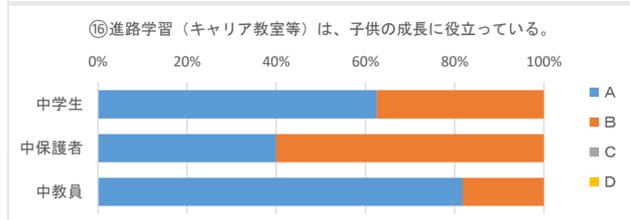
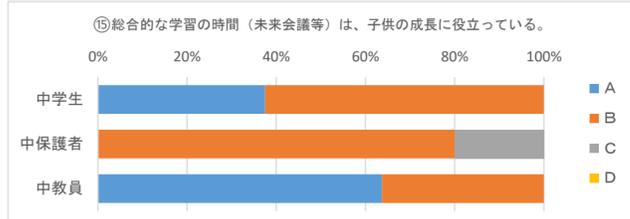
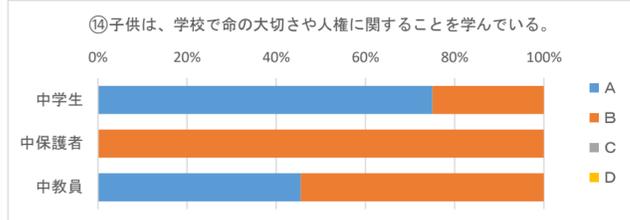
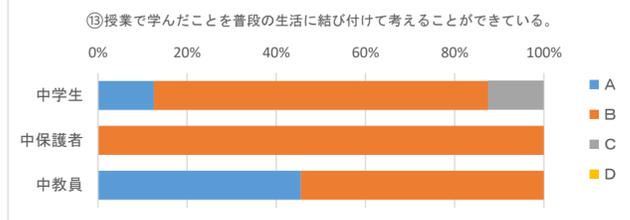
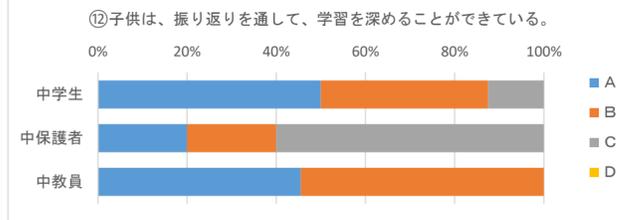
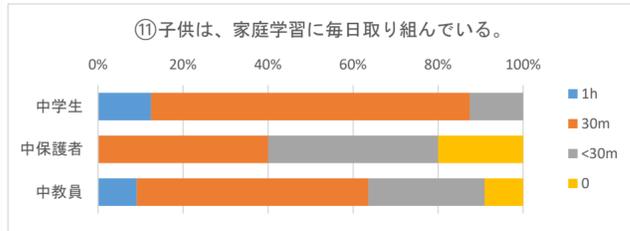
I 学校生活について		中学生	中保護者	中教員	
①	子供は、月の生活目標を意識して生活している。	A	0%	0%	9%
生	月目標は朝礼で発表されるきりで、その後触れることがないからは忘れてしまうことが多い。月目標を意識したことがあまりないからです。生活目標には、あまり関心がない。（早寝、早起き、朝ごはんとかは、年中意識している。）	B	25%	40%	82%
保	月の目標がある事を知りませんでした。目標がない	C	75%	40%	9%
教	朝礼で伝え学級に貼ってはいるが、学級など普段意識させる言動や行動は自分自身も周りでも目撃していない。	D	0%	20%	0%
②	子供は、学校のきまりを守って生活している。	A	50%	60%	55%
生		B	38%	40%	45%
保		C	13%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
③	子供は、正しい言葉づかいで話をしている。	A	13%	20%	36%
生	ノリで、あんまり良くない言葉遣い（くそ!!、黙れ!!など、、、）をしてしまうことがあるため、そこは気をつけたいです。（目上の人に対する接し方は良いと思います。）	B	75%	40%	55%
保	周りが小さい頃から知っている人ばかりのため、言葉遣いは気にしないで育ったため言葉遣いは先輩や先生たちに対して良くない時が多いと思います。	C	13%	20%	9%
教	距離感が近づきすぎてしまうことがよくある。	D	0%	20%	0%
④	子供は、ていねいに字を書いている。	A	50%	0%	27%
生	字に関しては早く書くことを意識しすぎて、雑になってしまっている。字をあまり綺麗に書いていないのは、綺麗に書こうとすると、みんなのスピードに追いつけないからです。	B	25%	20%	64%
保	大きさの違いや、漢字も間違えたままでかいていることも多い我が子は昔からあまり丁寧に字を書いていませんでしたが、中学生になって拍車がかかったように感じます。特にやりとり帳の字は酷く、面談で話題にしました。今は様子を見ています。	C	25%	80%	9%
教	工夫して指導するほどの生徒が現在いない。	D	0%	0%	0%
⑤	クラスの活動や生徒会（委員会）活動は、子供の成長に役立っている。	A	50%	60%	91%
生		B	50%	40%	9%
保	学園活動が多いと、どうしても、中学生の負担が増えます。また、小学生との交流ばかりでなく、高校生と交流の機会も検討して欲しいです。	C	0%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑥	先生は、授業以外でも話を聞いてくれたり会話をしてくれたりしている。	A	88%	80%	82%
生		B	13%	20%	18%
保		C	0%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑦	学校行事は、子供の成長に役立っている。	A	50%	60%	91%
生		B	50%	20%	9%
保	行事が多く、追われている感じがします。生徒それぞれに、力を入れたい事が違ったり、何より、落ち着いた学習時間の確保が重要だと考えます。	C	0%	20%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑧	学校の施設・設備は安全で使いやすい。	A	25%	0%	73%
生	怪我をしたから。グラグラするところなどがあるから	B	50%	80%	27%
保	学校の設備が良くわかりません。が、体育館に冷暖房があると良いと思います。	C	25%	20%	0%
教		D	0%	0%	0%

II 学習について		中学生	中保護者	中教員	
⑨	一人1台端末やAI学習教材は、学習に役立っている。	A	63%	0%	73%
生		B	38%	100%	27%
保		C	0%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑩	子供は、授業に積極的に参加している。	A	88%	60%	64%
生		B	0%	40%	36%
保		C	13%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%



① 考察及び改善策	・評価項目を変更したことで挨拶以外にも含むことになった。 ・生徒、保護者、地域への周知を徹底。
評価	B
② 考察及び改善策	・生徒は改善し、教師は低下。
評価	B
③ 考察及び改善策	・顕著な変化なし。 ・生徒及び教師の課題意識を醸成させていく。
評価	B
④ 考察及び改善策	・生徒、教員が改善、保護者は低下。 ・保護者と連携するとともに各教科及び各学年で取り上げる。
評価	B
⑤ 考察及び改善策	・全体で改善、良好な結果である。
評価	A
⑥ 考察及び改善策	・全体で改善、良好な結果である。
評価	A
⑦ 考察及び改善策	・保護者、教員が改善。 ・情報公開や対話を継続。
評価	A
⑧ 考察及び改善策	・教員のみ改善。 ・部屋の片付け等の地道な取組を推進。
評価	B
⑨ 考察及び改善策	・質問を変更。教師と生徒から高い評価。 ・保護者への情報提供や周知方法を検討する。
評価	A
⑩ 考察及び改善策	・全体で改善、良好な結果である。 ・Cと回答した生徒への個別の支援も行っていく。
評価	A

⑪	子供は、家庭学習に毎日取り組んでいる。	1h	13%	0%	9%
生		30m	75%	40%	55%
保	家庭学習＝宿題です。宿題によっては1時間以上やりますし、無ければやりません。ほとんど毎日1時間弱はやり始めたが、毎日ではない(週1ないし週2はやらない) テスト週間前などの特別な時期以外の様子で回答しました。	<30m	13%	40%	27%
教	家庭学習の習慣はついていないと感じます。家庭学習への動機づけがまだまだ不十分である。各教科で課題が出ているため、毎日やることを出してしまうと生徒の容量があふれてしまうのではないかと心配で、毎日やれることを出していない。週に一度の教科なのもあって、毎日の家庭学習になるような課題は出していない。	0	0%	20%	9%
⑫	子供は、振り返りを通して、学習を深めることができている。	A	50%	20%	45%
生	振り返りを書いたとしてもそれを振り返ったりしていないから	B	38%	20%	55%
保	振り返りの内容を細かく見たことがない(本人が見られたくないらしい)のと、教科により、差がある(文章量など)ように感じる。具体的にどのように振り返りをしているのか本人に聞いてみたがよく分からなかった。振り返りは苦手のように感じる。振り返りを、家でダラダラと作成している姿を見るから、なるべく学校で作成して欲しい	C	13%	60%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑬	子供は、授業で学んだことを普段の生活に結び付けて考えることができている。	A	13%	0%	45%
生		B	75%	100%	55%
保		C	13%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑭	子供は、学校で命の大切さや人権に関することを学んでいる。	A	75%	0%	45%
生		B	25%	100%	55%
保		C	0%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑮	総合的な学習の時間(未来会議等)は、子供の成長に役立っている。	A	38%	0%	64%
生		B	63%	80%	36%
保	未来会議のハッピーリボン参加に関しては、商工会側の意見の通りに生徒が行う形だったので、去年までの生徒がやりたい事に大人が手伝うような形の方が私は良いと思いました。未来会議の内容や、依頼があったら何でも受けるのでは無く、なるべく、子供達の自主性と、授業内や放課後の活動で完結する様をお願いいたします。	C	0%	20%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑯	進路学習(キャリア教室等)は、子供の成長に役立っている。	A	63%	40%	82%
生		B	38%	60%	18%
保		C	0%	0%	0%
教		D	0%	0%	0%



⑪	考察及び改善策	・質問項目を修正し、時間を明確化。 ・小学校や各家庭と連携し、家庭学習の在り方や習慣について取り上げる。	評価	C
⑫	考察及び改善策	・質問を具体化。保護者には見えづらく、低下した。 ・進路研修部で検討し、振り返りシートの使用方法を見直す。	評価	B
⑬	考察及び改善策	・下位層が減少、授業改善の影響か。 ・各教科の授業で具体的なイメージをもてるよう指導する。	評価	B
⑭	考察及び改善策	・生徒からの高い評価。 ・保護者が好転。 ・今後も教育活動全体で人権教育等に取り組む。	評価	A
⑮	考察及び改善策	・最上位が減少、上位が増加。 ・地域連携と生徒一人一人の課題設定の在り方について検討する。	評価	B
⑯	考察及び改善策	・最上位が減少、上位が増加。 ・限られた時間の中で質を高めていく。	評価	B

Ⅲ 式中のよいところはどんなところだと思いますか。

生徒	<ul style="list-style-type: none"> みんな優しい 皆が友達で明るい学校なところ いろんな人が共存できる場所 芝が綺麗で島を活かした授業ができている 少人数だからこそ授業中わからないところを丁寧に教えてもらえるところ 未来会議で式根島について改めて考える時間があるところ 大人数の前ではないけれど、人前で発表する機会が多いため話す力を身につけられるところ 先生たちが優しく何かあった時に話しかけやすい。生徒・先生たちみんな仲良くいられる学校であるところ。 式中に限らず式根全体に共通してみんながフレンドリーで笑顔のたえないところが良さだと思います。また生徒がミスや、叱るべきことがあったときは優しく指導してくれ、「怒る」ではなく、本気で生徒のためを思って指導してくださるので、ありがたいと感じている。また困ったことや、悩みなどがあればすぐに相談できる安心感があるのも良さだと思う。 人数が少ないため、ほぼ全員と関わることができること。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と先生の距離が近く、保護者としてもとても話しやすいです。 生徒数が少ないので先生の目が行き届くところ。でも、その良さを子供達が活かしていない。内地の学校を知らないで、内地のいいところ、式根のいいところをそれぞれ先生方が感じていることを子供達に伝えていただき、目標や夢を持ち、それに向かって頑張ろうとすることができるようになるとよいと思う 熱心なご指導 校庭の整備も維持されていて感謝です 先生方が親身になって相談に乗ってくれる。個々によく対応してくれる。人数が少ないが故のところもあるが、異学年交流がある。行事だからこそ学べることも経験することも多いので、運動会や音楽会、その他いろいろな行事を行ってくれる。 たくさんの先生方が子どもに関わってくれる 子ども一人ひとりに対して、個に応じた丁寧な指導をしてくれる 校庭が広く、綺麗な芝生で気持ちが良い 給食が美味しい
教員	<ul style="list-style-type: none"> 小人数を感じさせることなく、生徒が活発で素直なところだと思います。 生徒がのびのびしていて素直なところ。それを受容する先生方の雰囲気。ほしい備品がすぐ買える。 教員一人ひとりの力がある。積極的に地域活動に参加している。生徒が素直である。行事に一生懸命に取り組める。 生徒一人一人にしっかりと向き合える。 生徒も教員もよく話をしている 授業中に積極的に発言する生徒が多い 1人1人のことを丁寧に見とることができる 今までにとらわれることなく、生徒にとって良い環境を検討し、実行できている 先生たちが仲良しで生徒の成長のために真剣。生徒への愛が大きい 温かい雰囲気がずっと変わらずある。(新しい先生を迎え入れる姿勢等) 生徒と教員のコミュニケーションが活発で子供たちに合わせた指導を行えて、何かあった時には相談できる関係性があること。 行事に一生懸命なところ。後輩や小学生に優しく接するところ。 皆一生懸命なところ

IV 式中をよりよくしていくための意見を書いてください。

生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校とつなげる。「物理的に」 ・中学校の校庭の解放を強く願います。 ・規則が厳しい部分がある ・下の学年とだけ関わっている部分が多くあるので、もっと上の学年の人と関わることによってもっと学べるが増えると思う。 ・女子更衣室が狭いので、女子更衣室の中の机を移動させてほしい ・牛乳パックのゴミ箱の近くに机を置いて、階段降りてすぐ捨てられるようにしてほしい ・学校の掃除を多く行う。 ・式中に必要なのは、ユーモアだと思う！少しだけ学校の決まりが硬い気がしているように感じてしまう。また、「いじめや誰かが嫌な思いをするかもしれない」といったものは式中では絶対にありえないと断言します。わたしたち生徒の絆はダイヤモンドくらい硬いので大丈夫です！ ・ルールをもうちょいゆるくしてほしいです
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、新任の先生が多い中とても良くしていたたぎ、当初の不安は序盤で無くなり感謝しています。ですが、基本的には先生方が大勢入れ替わるのは不安(特に受験生は)ですので、是非学校の方で調整していただきたいです。 ・各種、検定の機会がありますが、検定に向けたサポートをしていただけたら、より学習意欲が湧くと思います。 ・子どもの人数が少ない為、内地で経験するだろう多くの友達関係・先輩後輩関係でのいろいろな出来事や体験をする機会がないので、学校生活においても、また学校生活以外の放課後や休日の過ごし方についても、島だからこその良いところをいかしているいろいろな経験をさせたいと思う。 ・決して大人は子ども同士の関わりの代わりにはなれないので、大人があまり先にいろいろ縛り付けずに、子どもたちにいろいろ経験させて、学ばせて、それから本人達で良くなかった点・改善して行った方がよい点を考え次にいかしていけるよう、助けが必要であればそこで声かけしたりサポートをお願いしたい。 ・内地では当たり前だからといってあれはダメこれはダメだと経験させないまま高校生やその先もう少し大きくなって、いきなり内地でいるんなことを初めて経験してそこで心折れるより、今少しでもいろいろな経験させて心も体もたくましく成長していってくれる方がよほど親としては安心。 ・どこで何しているかすぐに分かり、親同士も連絡取れる環境の今のうちだからこそできることもあると思う。 ・また、小中一貫というのであれば、合同でやる授業や子ども達の発表など、忙しいとは思いますが、管理職の方々も毎回きちんとみた方がよいと思う。 ・いろいろな取り組みを考えるだけでなく、今いるその子ども達がどうしているのか、顔や様子を見るのが一番大事。その子たちに合った取り組みを小中で協力してやっていく必要があると思う。 ・身体を思いっきり動かしたい中学生のために、中学校の校庭開放ができればいいなと思います。 ・現段階では、小学校の校庭で、小さい子を気にしてできるだけ周りに危険が及ばないように遠慮しながら気をつけて遊んでいるようです。 ・せっかく中学校に広く綺麗な校庭があるので、そこでエネルギーを発散させてあげられたらいいのになと思います。
教員	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携の活動も活性化し、とても良いと思いますが、一緒に活動することが優先的になりすぎていて、中学生としての成長にも視点をおいた活動にもした方がよいと思います。 ・各教科の指導方法の工夫など、今年はICT活用を軸に学ぶことが多かった。これを継続的なものにできたらと思います。またキャリア教育を充実させることで、学習へのモチベーションにもつなげていければと思います。 ・小学校との連携が多くなり、よくなったところも多いが、継続的に行うには課題が多い。義務教育学校に向けて、子どもの活動の連携だけでなく校務に関しても連携が取れるよう小中の連携を考える会議を定期的に行ったり、特別委員会を立ち上げるなどしたほうがよいと思います。 ・フットワーク軽く様々なことに挑戦するのはいいことですが、研修や研究など負担が重たいものを突然突っ込むのはやめてほしいです。やってみなければ得られないものはあると思いますが、やることの選別は各自のペースでやらせてほしい。 ・島しょ地区の特性を理解したうえでの指導や関わり方が必要。関係性が近い分、やりやすい部分とそうでない部分を見極めて行動する必要がある。 ・生徒について、人との距離感がうまくつかめていない様子などから幼さを感じたり、楽しければそれでよいという考えの生徒が多いように見える。9年間で育てたい生徒像の共有を小学校とも行い、そこに向けて日々の声掛けをできるようになったら良いと感じる。 学力について、一定の水準に届かないと学習を楽しむことができない。定着が弱い生徒への指導や対応を学校全体で考え、フォローしていける体制を整えていきたい。 ・失敗を恐れずに生徒や保護者にもっと本気で関わると良いと思います。もう少し先生たちに余裕のできる時間があると有難い。(生徒のことをもっと考えられる) ・生徒と教員の距離感が近いのが良さでもあるが、課題でもある。生徒にすべき言動でない発言も学校内外で見られる。プライベートで生徒と関わるときも教員であることを忘れず、教員として良くない関わり方をしない方がよい。そのためにも、外で生徒と関わるときルールを年度初めなどに伝え、共通認識をはかり、未然防止をしていった方がよい。 ・基礎学力の定着を図れるような実践と、生徒が達成感を感じられるような学習活動。地域の方を巻き込んだ教育活動。 ・タスクが多すぎて教員も生徒も疲弊する時期がある。行事や業務の精査、時期の調整等が必要だと考える。